

モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2018年 2月 28日

通算 181号

三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

2月4日(日曜日)



70名を超える人たちがシイタケの菌打ちを楽しむ

【参加者：池本、岡、梶川、河野、芝田香、芝田美、鈴木哲、野口、山本、鈴木明 計10名】



北風が強く、冷え込む朝であったが、「シイタケの菌打ち体験」に31家族70名を超える参加者が集まった。

参加者は、シイタケの菌打ちの仕方やその後の管理の仕方などの説明を受けた後、道具の制約もあり、森林公園を散策する班と菌打ちする班に分かれてもらった。菌打ち体験では、2本のホダ木と60個の駒菌を受け取り、ドリルで穴をあけ打ちこんでいった。小さな子も駒菌を穴に詰めたり、木槌で叩くことは簡単にできるのでとても楽しそうであった。ドリルの唸るような音の後には、トントン トントンの心地よい、可愛らしい音が響いていた。



おいしいポーズだよ

冷えた体を温めてもらおうと用意した豚汁もとても好評であった。



2月8日（木曜日）花菖蒲畑の手入れと枯れ木の除伐

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、計7名】

春の花菖蒲の芽出しの前に、花菖蒲畑の手入れを行った。花菖蒲の芽の近くは丁寧に手で草を取り、周りは刈払機で草を刈った。これで花菖蒲も気持ちよく芽を伸ばすことができるであろう。春の芽出しが待ち遠しい。



2月15日（木曜日）

チルホールを使って除伐・モリメイト会議

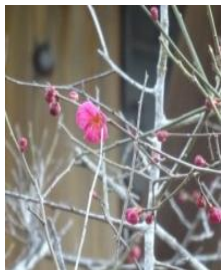
【参加者：池本、梶川、芝田香、杉、鈴木哲、中、山本、鈴木明 計8名】

春の暖かい日差しを受けて、風の砦にある紅梅が一輪開花していた。

今日は、杉さんが台湾から帰国し参加してくれたので一段と楽しい作業となった。初めに公園入口の枯れマツ6本を除伐。外周の散策路沿いの枯れマツ5本除伐。そのうちの1本はそのまま除伐すると池にはまってしまう可能性があるのでチルホールを使って除伐。久しぶりに1番東屋、外で昼食をとった。



午後からは枯れコナラの除伐。目印を付けた30本のうち計17本を除伐した。



モリメイト会議では、「シイタケの菌打ち体験」のイベントについて振り返り、次回へ向けて課題を出し合った。

2月22日（木曜日）

枯れマツを処分するため名張の工房まで運ぶ

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、中、山本、鈴木明 計9名】

除伐した枯れマツを持って行ってくれる人が少なく、職員駐車場に山積みされているので、芝田さんのグループの工房に持っていくことになった。



軽トラ3台に積めるだけ積み落ちないようにしっかりロープで縛り、50分かけて名張まで運んだ。まだほんの一部なので、あと何回か運ぶことになるだろう。